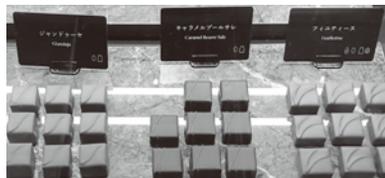


カーデックスのプライスカードプリンタが「ウェスティンホテル東京」のbuffetコーナーに導入!

「ザ・テラス」の10月リオープンに際し、メニューカードに「Edikio Guest Flex」が採用。

カーデックス株式会社
<https://www.cardex.jp>



ウェスティンホテル東京 westintokyo.com

効率性・衛生面でbuffetコーナーをグレードアップ

ウェスティンホテル東京は、日本を代表するヨーロッパアンスタイルのホテルだ。同ホテルは、2024年の開業30周年に向け、初となる館内施設の大規模改修を行った。そして、ロビーラウンジとともに先立って10月2日にリオープンしたのが、インターナショナルレストラン「ザ・テラス」だ。フルオープンキッチンが印象的なオールデイダイニングで、約80種類のbuffetアイテムに加え、アラカルトも豊富に取り揃えている。

今回のリニューアルでは、オーダーメイドのピザ窯を導入するほか、ライブキッチンがより効果的に演出できるレイアウトに変更した。さらにもう一つが、メニューカードの一新だ。このメニューカード作成のプリンタに採用したのが、カーデックス(株)の「Edikio Guest Flex」だ。同社は幅広い業種に向けて様々なプリンタを展開しており、その中でもホテル業と飲食業に向けて提案しているのが、「Edikio Guest Flex」シリーズだ。

導入の経緯について、「ザ・

テラス」マネージャー池本華縁氏は次のように語る。

「従来は黒板のようなメニューカードに手書きで作成していましたが、今回のリニューアルを機に、より格式の高いbuffetを演出できるメニューカードにしようと検討していました。そのうえで、前ホテルにて「Edikio」を使用していた縁もあり、印刷性能と衛生面に魅力を感じ、導入しました。実際、印刷が容易で非常にスピーディに換えられるため、メニューの変更や追加が起こった際にも手間がかからず、印刷できるフォントの数も豊富なので、選択可能な言語も多いと感じています」

そして、「ザ・テラス」では朝食時に白のメニューカードを、ランチ・ディナー時には黒のメニューカードを使い分けることにより、時間帯に応じて演出を変えている。加えてメニューカードには、マリオット基準で選定したアレルゲン28



インターナショナルレストラン「ザ・テラス」マネージャー 池本 華縁氏

品目のアイコンを表記。メニュー名も英語と日本語を併記している。続いて、最近の「ザ・テラス」の稼働状況について次のように語る。

「有り難いことにリニューアル後、非常に多くのお客様に御利用いただいています。特に平日の朝食は、およそ9割のゲストが外国人の方ですので、メニューカードの表記に英語は必須です。ご宿泊でないお客様のご来店も多く、今後ますますす力を入れていきたいと考えています(池本氏)」

最後に、「Edikio Guest」シリーズの導入は、ホテル側のメリットはもちろん、同レストランのように、色を使い分けるなど、演出アイテムとして有効活用することができるため、今後多様化するbuffetに欠かせないアイテムとなるだろう。



ラベルにPVCカードを使用しているため、汚れや痛みにも強く、氷の上でも使用可能。